

# 業界初エージェントレス・バックアップ・アプライアンス 「Data SAFE」のご紹介

= 目次 =

1. 会社概要
2. Data & Topic
3. 製品ラインアップ
4. Data SAFE

コアマイクロシステムズ株式会社

平成22年4月30日



## 会社紹介



# 会社概要

社名	コアマイクロシステムズ株式会社 Core Micro Systems, Inc.
本社	〒173-0026 東京都板橋区中丸町11-2 ワコーレ要町ビル9F
電話	03-5917-6451 / 050-5558-5410(IP電話)
代表者	代表取締役 高橋 晶三
設立	平成4年10月16日
資本金	1億5300万円
取引銀行	みずほ銀行 本郷支店
事業内容	1.ストレージシステム事業 2.ストレージ開発事業 3.代理店事業 4.OEMサービス
ウェブサイト	<a href="http://www.cmsinc.co.jp/">http://www.cmsinc.co.jp/</a>
加盟団体	PCクラスタコンソーシアム 日本データベース学会 J-SOX対応促進協議会

コアマイクロシステムズの創業は1992年にさかのぼります。1992年は、Microsoft社がWindows 3.1をリリースし、また、Intelを中心とする業界アライアンスグループがPCIバス1.0を策定した年でもあります。すなわち、オープンアーキテクチャの本格的な普及に合わせて、コアマイクロシステムズは誕生し進化を遂げてきたと言えるでしょう。

コアマイクロシステムズの理念は「ストレージソリューションを通してお客様の価値向上に貢献する」ことにあります。従来の500倍以上の性能を誇る自社開発の半導体ストレージSolidSTORから、低価格な汎用RAID製品まで、幅広い製品ラインアップと次世代の革新的ストレージソリューションを提供している理由は、そのためにほかなりません。

社会のグローバル化とIT化によって、企業や機関が保有するデータは貴重な情報資産へと価値を変え、情報を格納するストレージシステムの役割がこれまでになく増えています。コアマイクロシステムズは、これからもお客様のさまざまなニーズにお応えする最適なストレージソリューションを提供し続けてまいります。

代表取締役社長 高橋 晶三



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.

# 事業ドメイン

名称	スーパーストレージ事業	ストレージアプライアンス事業	パートナープロダクツ事業	OEMプロダクツ事業
概要	次世代ストレージの方向性として、用途・目的に合わせた最適なストレージが非常に重要になっています。これらに対応するために、専用化された技術および最適化技術を独自に基礎開発し、用途別QoSストレージとして最終製品開発を行っています。	システムレベルのストレージにおいては、ハイレベルかつインテリジェントなストレージサービスが求められます。これらに対応するために、ストレージの基本技術に加えて、ストレージミドルウェアを高度にインテグレートした専用ソリューションストレージの開発を行っています。	いつの時代でも、マーケットニーズには、的確かつ柔軟に対応しなければなりません。このためには、新しい技術、コンセプトに基づく先進的なパートナーの製品が大変重要です。	市場での多様なシステムニーズに対して、いかにスピーディに、かつ的確に機器仕様を満たすかが大変重要です。これらには、自社技術、設計能力に加えて、幅広いテクノロジーパートナーをベースとした強力なネットワークがあって実現できるものです。
製品コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SUPER TRANSACTION STORAGE</li> <li>・SUPER THROUGHPUT STORAGE</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・INTELLIGENT FILE SHARING</li> <li>・INTELLIGENT STORAGE VIRTUALIZATION</li> <li>・INTELLIGENT BACKUP ACCELARATION</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術ブロック製品</li> <li>・補完技術製品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BOX製品OEM</li> <li>・セミカスタムOEM</li> </ul>
製品ラインアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DRAM SSD/CACHE</li> <li>・並列負荷分散RAID</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NASストレージ</li> <li>・仮想化ストレージ</li> <li>・バックアップストレージ</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Infortrend RAIDベアボーン製品</li> <li>・QLogic SANインテグレーション製品</li> <li>・SYNOLOGYエントリーNASベアボーン製品</li> <li>・INVENTECサーバーベアボーン製品</li> <li>・ほか、I/Oカード、ソフトウェア類</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレージ</li> <li>・サーバー</li> </ul> 



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.

# SAFEシリーズ以外の主要製品群



## スーパーストレージ

ERP・BI・DHW・映像処理の高速化に最適 ー超高速かつ業界最高水準のコスト性能比を実現

業界最速水準のIOPS

### Solid STOR



次世代ハイエンド4K  
映像対応超高速  
VIDEO RAID

### Super RAID

超高速大容量ストレージ統合

### Super GATE



## ZFSオープンストレージ (ユニファイド・ストレージ)



OpenSolaris / ZFS によりエンタープライズストレージシステムを従来の1/3程度のコストで実現

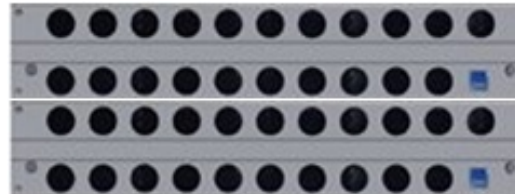
大規模同時アクセスに応える  
先進のユニファイドストレージ

### Prime STOR ZFS



大規模同時アクセスに応える先進の  
ストレージ仮想化ゲートウェイ

### Prime GATE ZFS



### NexentaStorの特長

- 容量・スナップショット・クローン数無制限
- Solaris / ZFS の信頼性と実績
- 既存ストレージリソースの統合
- コストの大幅な削減
- 自己修復ストレージ・システム



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.

## 主要提携パートナー

ACARD  
TECHNOLOGY



StorMagic®  
SMART STORAGE MADE EASY

SuperSpeed®

Chelsio  
Communications  
— An Avago Company —



NEXENTA

Double-Take  
Software

FalconStor  
SOFTWARE

AVerMedia®  
TECHNOLOGY

Infortrend®

Synology®

Inventec

sanbolic

PROMISE®  
TECHNOLOGY, INC.

PRO  
WARE

QLOGIC®

AIC

当社のコアテクノロジーを活かした先進のベンダーとのアライアンスを実現

詳細は<http://www.cmsinc.co.jp/products/partners/index.html>



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.



# 主要実績

## Solid STOR主要実績

- ・国内大手コンピュータメーカー様 ソフトウェア開発環境
- ・国内大手通信会社 様 社内システム
- ・国内大手医薬品会社 様 ERPシステムのI/Oアクセラレーションとして
- ・国内大手製造業 様 ERPシステムのI/Oアクセラレーションとして

## Super RAID / Super GATE主要実績

- ・国内大手映像プロダクション 様
- ・某著名大学映像学部 様

## 大規模ストレージインテグレーションの主要実績

- ・全国ネットTV局 様
- ・某著名大学様 1PB超のHPCストレージ
- ・某著名大学様 300TBのバックアップストレージ
- ・某著名大学様 1000クライアントのシンクライアントシステム
- ・某著名大学様 2000クライアントのキャッシュシステム
- ・某大手精密機械メーカー様 バックアップシステム
- ・大手不動産販売会社様 バックアップシステム
- ・大手設計事務所様 バックアップシステム

## OEM主要実績

- ・国内大手 精密機械会社 様 組込み型NAS
- ・国内大手医療機器メーカー様 最新鋭CT装置内大型並列RAID
- ・国内大手ホスティング会社 様 ショートトラックサーバ
- ・国内大手複合機メーカー様 組込みRAIDコントローラー
- ・国内大手印刷会社 様 専用サーバ
- ・海外大手コンピュータメーカー 様 NAS



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.

# 主要取引先一覧

アジア航測株式会社  
株式会社 アルゴグラフィックス  
株式会社 アイ・オー・データ機器  
アツミ電気株式会社  
インクリメント・ピー株式会社  
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
NTTアドバンステクノロジ株式会社  
株式会社 NTTデータ  
株式会社 NTT東日本  
株式会社 エクサ  
沖電気ネットワークインテグレーション(株)  
加賀テック株式会社  
加賀電子株式会社  
カテナ株式会社  
兼松エレクトロニクス株式会社  
加賀ソルネット株式会社  
兼松株式会社  
学習院大学  
クボタシステム開発株式会社  
株式会社 クレッセント  
株式会社 シーイーシー

株式会社CSK－ITマネジメント  
シーティーシー・エスピー株式会社  
新日鉄ソリューションズ株式会社  
芝浦工業大学  
住商情報システム株式会社  
ソニーPCL株式会社  
ソニー株式会社  
ダイワボウ情報システム株式会社  
大日本スクリーン製造株式会社  
株式会社 テクシードコンパス  
株式会社 Too  
東京エレクトロンデバイス株式会社  
東芝ソリューション株式会社  
株式会社 東芝  
東芝メディカルシステムズ株式会社  
東芝情報機器株式会社  
東京大学  
東芝情報機器株式会社  
日商エレクトロニクス株式会社  
日本電信電話株式会社  
日本ストラタステクノロジー株式会社

株式会社 ネットワールド  
ネットワンシステムズ株式会社  
株式会社 日立システムアンドサービス  
日立電子サービス株式会社  
ファーストサーバ株式会社  
三井情報株式会社  
三菱電機株式会社  
リコー販売株式会社  
リコー・テクノシステムズ株式会社  
ロジテック株式会社

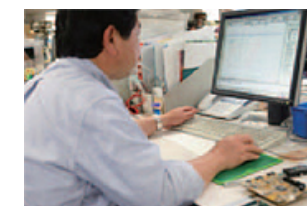


“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.



# 沿革(その1)



- 平成 4年10月 設立(資本金1000万円、本社:千代田区)
- 平成 8年 1月 米国及び台湾からの電子機器、部品の輸入販売を開始  
台湾 InforTrend社からのコントローラの取扱いを開始
- 平成 8年 6月 資本金を4000万円に増資  
RAID機器の取扱いを開始
- 平成10年 6月 資本金を8000万円に増資。  
RAID機器の自社開発を開始
- 平成11年 5月 NASコントローラ及びNASソフトウェアの自社開発開始
- 平成12年 3月 大手メーカー向けにNAS装置の開発を開始
- 平成13年 2月 資本金を1億2000万円に増資
- 平成13年 5月 台湾DELTA ELECTRONICS社とパートナー契約。ストレージ機器の共同開発を開始。
- 平成13年 9月 OEM向けにNAS装置の販売を開始。台湾 SYNOLOGY社と総代理店及び製品の共同開発契約を締結。
- 平成13年10月 RAID装置のOEM開発/供給を国内ストレージベンダー向けに開始
- 平成13年11月 自社ストレージソフトウェアを中国Rose Datasystems社と共同開発開始
- 平成14年 1月 資本金を1億4200万円に増資
- 平成14年 9月 日本ストレージアプライアンス株式会社を株式交換により100%子会社とする。これにより資本金は1億5300万円に増加
- 平成15年 9月 日本IBM向けにストレージ製品初のVLHとして、1U NASを登録。日本IBM社のビジネスパートナー経由の販売を開始。
- 平成15年10月 SSD(半導体ディスク)ストレージ装置の自社開発開始
- 平成16年 3月 マイクロソフト(株)のOEMパートナーとして、WINDOWS STORAGE SERVERベースのNASの開発/販売を開始
- 平成16年 5月 米国CHELSIO COMMUNICATION社のソリューションパートナーとして、次世代10GbE TCP/IPオフローダの販売および10Gbストレージ製品の開発に着手
- 平成16年 6月 インテル株式会社のテクノロジーチャネルパートナーとして、ブレードサーバの販売を開始
- 平成16年 7月 米国MELLANOX社のテクノロジーパートナーとして、国内初の20Gインフィニバンドストレージを開発
- 平成16年 8月 米国QLOGIC社のASIA PACIFICシグニチャパートナーとして初のAWARDを受ける
- 平成16年 9月 SSD(半導体ディスク)ストレージ装置の販売開始
- 平成16年10月 米国REDHAT社とOEM契約し、自社ストレージ製品への組み込み用OSとして使用開始
- 平成16年11月 本社を港区から文京区に移転
- 平成17年 2月 米国VERITAS社(現SYMANTEC社)のSTORAGE FOUNDATIONのソリューションパートナーとなる
- 平成17年 6月 台湾INVENTEC社とパートナー契約。サーバ製品および国内販売および自社製品への応用を開始。
- 平成17年 7月 台湾FIBRE LOGIC社とパートナー契約。WANロードバランサの国内販売およびWANストレージ製品の応用を開始。



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.

# 沿革(その2)

平成17年 9月	米国ファルコンストア社と提携し、仮想化ストレージ製品の開発を開始
平成17年11月	米国SUNMICRO SYSTEM社とOEM契約。SOLARIS10のアプライアンス製品の開発に着手。
平成17年12月	次世代QoSストレージ製品のための第1世代モジュラー階層型ストレージソフトウェアの開発に着手
平成18年 3月	タンベルグデータジャパン株式会社向けにVTLサーバヘッドのOEM供給を開始
平成18年 5月	米国FILEKEEPER社(現YOSEMITE社)と技術/販売提携。PCクライアントのCDP型ファイルバックアップアプライアンスを開発。
平成18年 6月	米国ORACLE社のソリューションパートナーとなる
	米国emBOOT社とパートナー契約。iSCSIブートによるシンクライアントソリューションの展開を開始。
平成18年 7月	台湾DICISION COMPUTER社と提携し、次世代低価格フォレンジックストレージの開発に合意
平成18年 8月	米国BROCADE社と技術パートナー契約。独自のWAFSアプライアンス製品の開発/販売を開始。
平成18年 9月	台湾LANNER ELECTRONICS社と契約。小型NASの国内ベンダ向けOEMサービスを開始。
平成19年 2月	台湾AVERMEDIA社とパートナー契約。映像監視レコーダの国内販売を開始。
	日本IBMのOEMパートナーとして、サーバ応用製品の開発を開始
平成19年 3月	米国SOFT TREE社のパートナーとして、DB監査ツールの国内販売に向けた評価を開始
	米国TELREX社のパートナーとして、VoIPレコーダの国内販売に向けた評価を開始
平成19年 4月	米国CLUSTER FILE SYSTEM社と次世代大規模オブジェクト型スラスタストレージシステムの開発について合意
	台湾SYNOLOGY社の次世代パーソナルNASメディアサーバの販売を開始
平成19年 5月	米国GTB INTERNATIONAL社と契約。情報漏えい検出/防止アプライアンス機器の国内販売に向けた評価を開始
平成19年10月	IPA(情報処理機構)の債務保証により、次世代QoSストレージ製品のための第2世代ストレージキャッシング & ロードバランスソフトウェアの開発に着手
平成20年10月	米国 Sanbolic社のWindows用64bitクラスタファイルシステムを発売
平成20年11月	ストレージプロセッサ・機器開発のACARD社と包括的機器開発および販売で合意
平成21年11月	自社開発SuperRAID SSDを発表
平成21年 5月	Infortrend 8G FC RAID発売開始
	自社開発MirrorFORCEを発表
	Promise Technology社と代理店契約締結について合意
	Promise Technology社が発表したVessファミリー外部ストレージソリューションの積極販売展開を開始
	NexentaStor 製品(ZFSベース オープン ストレージ ソリューション ソフトウェア)の販売展開を開始
平成21年 5月	StorMagic社SvSAN製品の販売展開を開始
平成21年 6月	CDPアプライアンス「Server SAFE」を新リリース
平成21年 8月	Decision Computer社フォレンジック製品の販売展開を開始



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.



## Data & Topics

---

# コアマイクロシステムズ次期戦略・新製品発表会



## コアマイクロシステムズ 次期戦略・新製品発表会

### 開催レポート


2009年11月13日開催 於:丸ビル ホール&コンファレンススクエア



#### ■開催概要

名称 : コアマイクロシステムズ 次期戦略・新製品発表会

主催 : コアマイクロシステムズ株式会社

協賛 : Nexenta Systems, Inc. 

日時 : 2009年11月13日(金曜日) 14時~16時20分(開場 13時30分)

会場 : 丸ビル ホール&コンファレンススクエア ルーム#5

対象 : ソリューションプロバイダー様

**当日の資料ダウンロード> : <http://www.cmsinc.co.jp/seminar/20091113.html>**

100名近い方々にご参加を賜り、盛会にて「コアマイクロシステムズ 次期戦略・新製品発表会」を2009年11月13日に開催しました。

開催日当日は、フラグシップ製品であるSolid STOR(業界最速水準30万IOPSを実現するDRAM型半導体ストレージ)の技術を高度に発展させた、B-TREEフル連想型大容量キャッシュ装置「Super CACHE」及び応用装置である「Super SSD」を発表しました。また、次世代データセンタにおける仮想化環境のトータルQoSを効果的にかつ効率的に実現する革新のストレージ自動階層化/仮想化技術ZFSをベースとしたNexentaStorオープンストレージ・ソリューション「Prime STOR ZFS」及び「Prime GATE ZFS」の解説を行いました。

営業・マーケティング戦略としては「Solid STOR」、「Super CACHE」、「Super SSD」などの「スーパーストレージ」と「Primeシリーズ」、「Data SAFE」を重点製品と位置づけ、それぞれのターゲットとビジネスチャンスを解説しました。



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.



# 10月15日報道発表: Data SAFE

複数の小型NAS(Tera Station / LAN DISK等)やLinux / Windowsベースの  
ファイルサーバをエージェントレスでバックアップする「Data SAFE」を発表  
～業界初！エージェントレスバックアップを低価格アプライアンスで実現～

業界初のエージェントレスで複数の小型NAS(Tera Station / LAN DISK等)やLinux/Windowsベースのファイルサーバを統合バックアップするアプライアンス製品「Data SAFE」を12月1日より販売開始することを発表いたしました。

弊社は、近年、導入が急増している小型NASに対して、統合的にバックアップがとれる手軽なソリューションが存在していなく、市場から強い要望を頂いているため本製品を発表いたしました。

本製品はエージェントレスのバックアップ・アプライアンスであるため、保護対象サーバへのエージェント等のインストールが一切不要であるため、ファイルサーバを運用できるお客様であれば誰でも簡単に設置・設定ができ、現在保護されていないTera StationやLAN DISK等の小型NAS及びLinuxやWindowsファイルサーバを統合的かつ低コストでデータ保護ができるようになります。また、本製品は遠隔バックアップ機能を標準で搭載しているため、遠隔地にData SAFEを設置することで、簡単に事業継続計画(BCP)や災害対策(DR)向けのシステムを低コストで構築できるようになります。

詳細は: <http://www.cmsinc.co.jp/news/2009/news2009101501.html>

日経ITPro様(システム運用管理部y門週間アクセスNo1)を初めに日経BPnet様BCN様、朝日新聞様、Yahoo!ニュース様EnterpriseWatch様、キーマンズネット様など多くのメディアにご掲載頂きました。

ITpro アクセスランキング			
システム運用管理		プラットフォーム	
昨日	週間	昨日	週間
2009年10月12日～10月18日			
1	小型NASとファイル・サーバー向けバックアップ装置, コアマイクロシステムズが発売		
2	デルが容量1.6TBのLTO-4テープ装置を販売		
3	【変わるIT運用管理者の役割と責任】変わるIT運用管理者の役割と責任(前編)		



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.

## BCP(事業継続計画)

# 59.6%増

2012年までのデータ出荷容量の  
年間平均成長率(CAGR)を  
59.6%と予測 (IDC 2008)



# にも関わらず

法令データ保管義務の施行、各種コンプライアンス  
J-SOX、e文書法、内部統制、..



「**重要なデータ**のバックアップを  
実施している」(野村総研2007)

# 81.8%

# 29.0%

「BCP策定済企業」  
(野村総研2007)



「発災時に目標とすべき事業復旧時間を、  
絞り込んだ業務・サービスの重要性を踏ま  
えて設定している」(野村総研2007)

# 13.6%



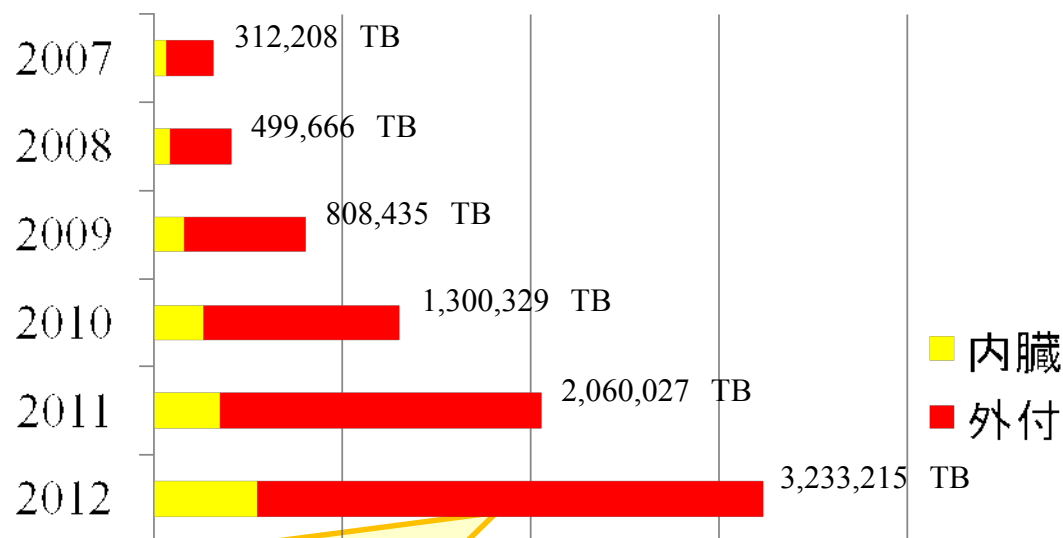
“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.



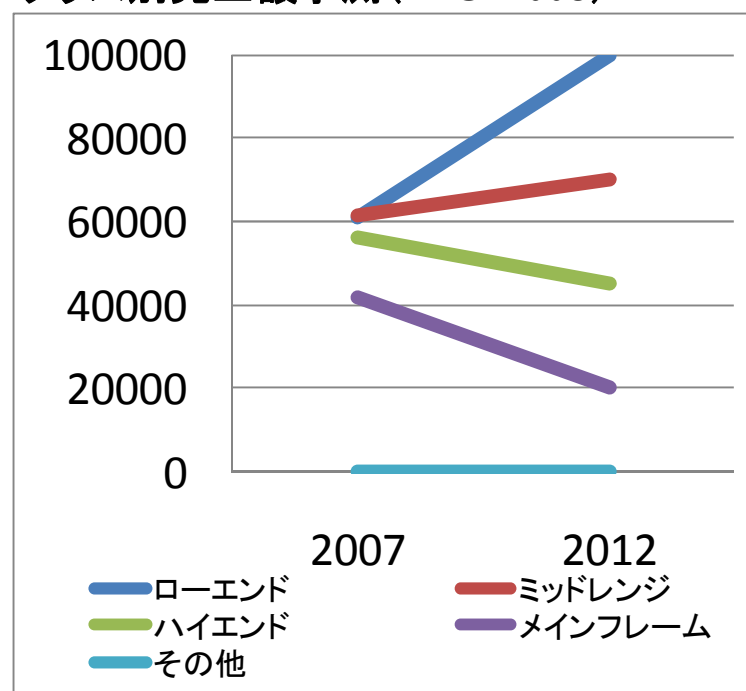
# 国内ディスクストレージシステム市場動向

国内ディスクストレージシステム市場出荷容量予測(IDC 2008)



特に増加が著しいデータ  
 電子メールデータ  
 画像データ  
 研究開発データ  
 複製データ(災害対策/バックアップ)  
 長期保存データ(コンプライアンス対応)  
 non-ITデータ(デジタル監視カメラなど)

国内外付ディスクストレージシステム市場クラス別売上額予測(IDC 2008)



**外付型ストレージの出荷容量は急増中！**

**ハイエンドストレージは売上減少へ、ローエンドストレージが増加傾向に。**

**⇒データ増加に対応するために、ローエンドストレージの追加を行った**

**⇒ストレージの低価格化により、中堅企業への普及が進行した**



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.



## 製品ラインアップ

## SAFEシリーズ・ラインアップ

最短10分間のリカバリとベストエフォート回線での  
遠隔レプリケーションを実現できる最強のCDP

# Server SAFE



スナップショットエージェントによるアプリケーションサーバ世代バックアップ

複数のTera StationやLAN DISK等の小型NASから  
Win/Linux等のファイルサーバを簡単バックアップ

# Data SAFE

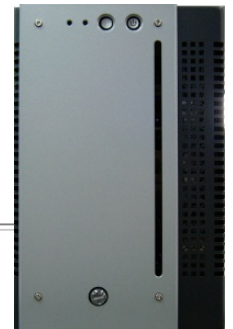


エージェントレス・ファイルサーバ統合バックアップ

# PC SAFE

台数が多いWindowsデスクトップPCを  
低コストでデータ&システム保護

エージェントフリー・デスクトップPC・フルバックアップ



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.

# SAFEシリーズ・ラインアップ

項目	Server SAFE	Data SAFE	PC SAFE
保護対象システム	Windows 2003以降 RedHat Linux 主要Unix 上記OS上の主要DB、 Exchange/Notes	小型NAS 各種ファイルサーバ ※CIFS及びNTLMv1サ ポートシステム	Windows XP/VISTA Windows 2000以降
保護対象領域	システム＋データ領域	データ領域	システム＋データ領域
バックアップ方式	4KB単位のブロックレ ベル差分バックアップ	ファイル更新検知方式	差分データ方式の高速 バックアップ
エージェントライセンス	15万円から	エージェントレス	エージェントフリー（無償）
接続上限値	4～255コネクション	256システム	20コネクション
バックアップ容量	2TB～250TB	4TB/10TB	3TB
世代数	32世代255世代	32世代	制限なし
RPO	1分～	1日	15分～
RAIDレベル	RAID6	RAID5/6	RAID6
価格（税抜）	168万円～	オープン価格	オープン価格



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.

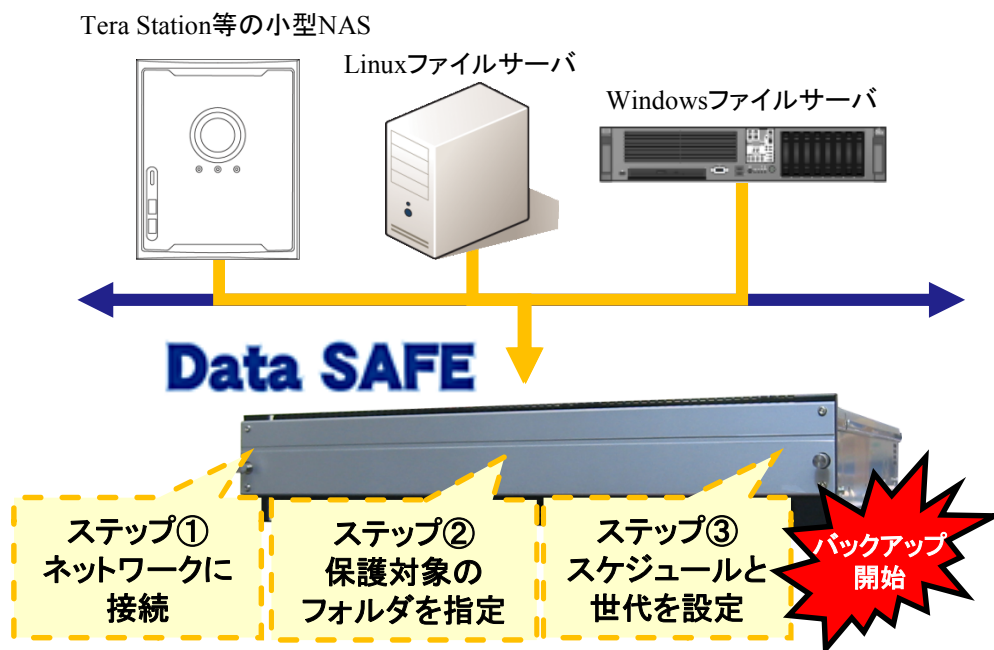


## Data SAFE

# Data SAFEとは

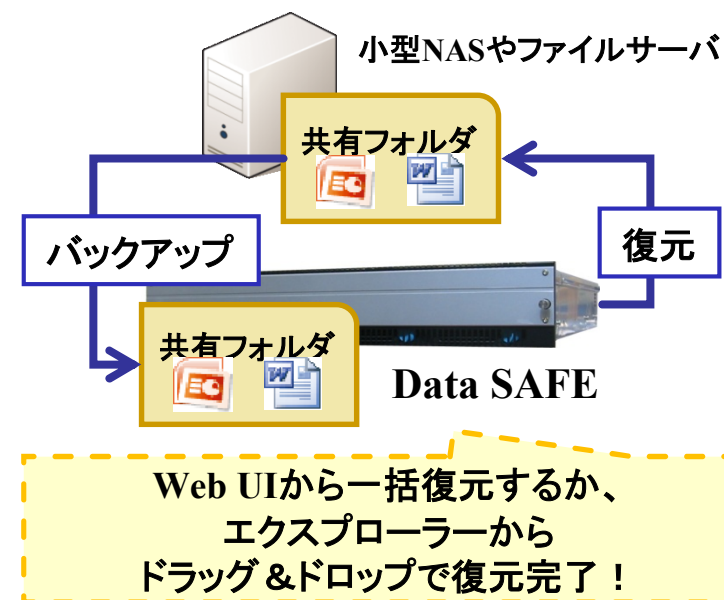
業界で唯一複数のTera StationやLAN DISK等の小型NASからWin/Linux等のファイルサーバをエージェントレスで統合バックアップできるアプライアンスです。

## エージェントレスで、簡単接続！



※CIFSプロトコルであることが前提です。

## マウス操作で簡単復元！





## こんなお客様に最適です

1. 複数のTera StationやLAN DISK等の小型NASをバックアップしたい
2. 部門のWindowsファイルサーバなど、バックアップを取っていないファイルサーバがある(重要なデータであってもバックアップをしていない 18.8%:2007年野村総合研究所)
3. 簡単で低コストなバックアップ・ソリューションを探している
4. うっかり消してしまったファイル復元の作業が割りと発生している
5. ファイルサーバにはマイクロソフトOffice系のデータが多い(マイクロソフトOffice は上書き保存もフル書き換えになります⇒低コストなファイルレベルのバックアップ手法で十分です)

手間と予算をかけずにバックアップを取りたい方に最適です



# Data SAFEのバックアップ手法:ファイル更新検知方式

①フォルダ単位でバックアップスケジュールと世代を設定します

②初回はフルバックアップをします。

③次回からのバックアップは前回から更新されたファイルのみをバックアップします

世代数はファイル単位での32世代まで設定が可能です。

保護対象のファイルサーバ



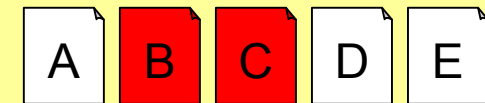
**Data SAFE**



バックアップスケジュール②では、更新されたファイル「B」と「C」がバックアップされます。バックアップスケジュール③では、更新されたファイル「B」と「E」がバックアップされます。

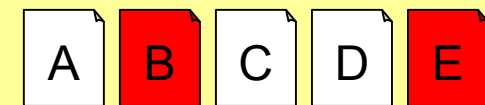
バックアップスケジュール①

保護対象フォルダ



バックアップスケジュール②

保護対象フォルダ



バックアップスケジュール③



= 更新されたファイル



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.

# Data SAFEの設定イメージ1

**バックアップスケジュールの追加**

実行日時

毎日 0時 --- 分 ---

スケジュールを追加

**バックアップ結果の確認**

バックアップレポートを表示

バックアップレポートをクリアします

毎日  
毎週-日曜  
毎週-月曜  
毎週-火曜  
毎週-水曜  
毎週-木曜  
毎週-金曜  
毎週-土曜  
毎月-1日  
毎月-2日  
毎月-3日  
毎月-4日  
毎月-5日  
毎月-6日  
毎月-7日  
毎月-8日

コンピュータ名 NTSERVER <必須>

IPアドレス 192.168.0.102 <必須>

共有フォルダ名 営業 <必須>

認証ユーザー名 hirose

パスワード ●●●●

認証ドメイン名 tokyo.cmsinc.co.jp

ユニコード ☒ 通信時の文字コードとしてユニコードを使用する

接続

**バックアップフォルダの指定**

フォルダ階層	フォルダ名	コントロール
第1階層	全て	決定
第2階層	全て	決定
第3階層	APP	決定
第3階層	au W05K CD-ROM	決定
第3階層	CDP	決定
第3階層	mail	決定
第3階層	Old	決定
第3階層	イラスト写真	決定
第5階層	カタログデータ	決定
第5階層	パートナー向け価格表	決定
第5階層	マーケティング	決定
第6階層	五十嵐データ	決定
第6階層	共有フォルダ - ntserver	決定
第6階層	富川テンボラ	決定
第6階層	北山データ	決定
第6階層	吉田引継データ	決定
第6階層	営業書庫	決定
第6階層	営業DATA	決定
第6階層	展示会イベント	決定
第6階層	福島引継資料	決定

クリア

バックアップ対象を追加

設定中はブラウザのリロード(再読み込み)を実行しないでください

DataSAFEにログインし、  
・スケジュールを設定

・バックアップをとる共有  
フォルダにログインするための  
情報を設定

・バックアップ対象のフォルダ  
を選択



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.

## Data SAFEの設定イメージ2

バックアップスケジュール

実行日時	毎週-日曜	1時	1分
世代管理	1世代<最新データのみ> 保存する		
削除ファイル	1世代<最新データのみ> 2世代 3世代 4世代 5世代		
容量制限			

設定する

・世代数を確認

後は設定ボタンで作業は完了です

バックアップスケジュールリスト

有効なスケジュール	バックアップ対象マシン	コントロール
毎日: 00時 00分	MARZ	無効化 修正 削除
毎週-日曜: 01時 01分	NTSERVER	無効化 修正 削除

スケジュールの変更を反映

最大で10スケジュールまで設定可能です

設定した内容はバックアップスケジュールリストに追加され、順次追加されます。

# 構成イメージ

保護対象サーバの接続数は理論値上は無制限（想定数はData SAFE一台につき15台程度まで）

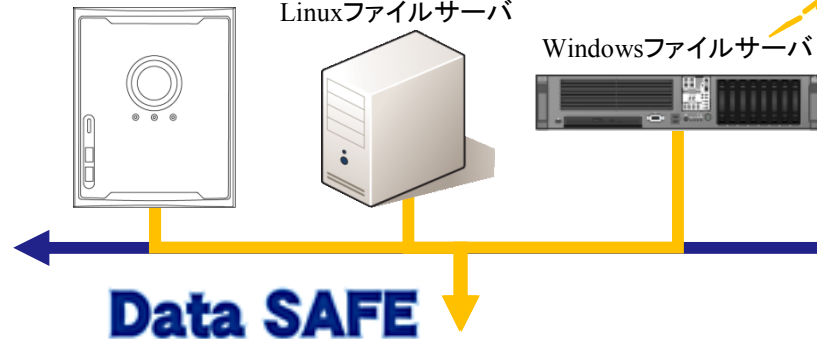
バックアップスケジュールや世代数は上位6階層までのフォルダに設定が可能です。

CIFSサポートシステムであることが前提になります。

Tera Station等の小型NAS

Linuxファイルサーバ

Windowsファイルサーバ



標準機能として遠隔地定時バックアップ機能をご提供しています。遠隔地定時バックアップの際の検知方式はファイル更新検知方式となります。

遠隔地定時バックアップ

WAN

Data SAFE

当該機種のバックアップ容量上限値までバックアップが可能です。上限値を超えた場合は電子メールによるアラートが送信されます。容量・世代数上限値を超えたバックアップはできません。

片方向でのバックアップが標準になります。但し、ご要望に応じ双方向バックアップも可能です。その場合は、コアマイクロシステムズまで、事前にお申し付けください。



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.

# Data SAFEのスペック

	Data SAFE 4TBモデル	Data SAFE 10TBモデル
型番	DS-B105GS	DS-R2012GS
保護対象システム	小型NAS、各種ファイルサーバ ※CIFS及びNTLMv1サポートシステム	
保護対象領域	データ領域	
バックアップ方式	ファイル更新検知方式	
エージェントライセンス	エージェントレス	
接続可能システム数	256	
バックアップ容量	4TB	10TB
世代数	32世代	
RPO	1日	
遠隔地定時バックアップオプション	標準搭載	
ネットワークインターフェース	GbE × 2	
接続方式	CIFSプロトコルベース	
HDD構成	SATA II 1TB × 5台	SATA II 1TB × 12台
RAIDレベル	RAID5	RAID6
冗長化	HDD	HDD, FAN, 電源
管理方式	Web	
電源	300W シングル	800W 二重化
所要電源	AC100~240V 50/60Hz	
寸法	178(W) × 330(H) × 280(D)	440(W) × 710(D) × 88(H)
重量	約11kg	約26kg





# Data SAFEの価格表

DataSAFE 価格表 / 5月

平成22年5月1日 Ver1.0 コアマイクロシステムズ株式会社

## ■製品本体価格表

製品名	SKU	バックアップ容量	RAID構成	本体価格(※1)		ハードウェア仕様			
				標準価格	お仕切り	形状	電源	重量	サイズ(W x H x D)
Data SAFE 4Bモデル	DS-B105GS-2/A1000x5	約4TB	RAID5	オープン	-	ボックス型	300W シングル	約11kg	178 x 330 x 280
Data SAFE 10TBモデル	DS-R2012GS-2/A1000x12	約10TB	RAID6	オープン	-	2Uラック型	700W 二重化	約26kg	430 x 88 x 650

※1 表示価格にアプライアンスハードウェア/ソフトウェアライセンス/送料を含みます。表示価格に消費税は含まれません。

※ 出荷日より一年間のセンドバック保証が含まれます。

## ■オンサイトハードウェア保守(ソフトウェア保守を含む)価格表

製品名	SKU	標準価格(※2)	お仕切り	備考
Data SAFE 4TBモデル オンサイトハードウェア保守				
単年(初年度から3年目まで)	DS-B105GS-2-MS1	オープン	-	初年度から3年目までの単年度購入の保守サービスです。
単年(4年目)	DS-B105GS-2-MS4	オープン	-	DS-B105GS-MS1、DS-B105GS-MT3ご購入のお客様の4年目の保守サービスです。
単年(5年目)	DS-B105GS-2-MS5	オープン	-	DS-B105GS-MS4、DS-B105GS-MT4ご購入のお客様の5年目の保守サービスです。
3年バック	DS-B105GS-2-MT3	オープン	-	初年度から3年目までの一括購入の保守サービスです。
4年バック	DS-B105GS-2-MT4	オープン	-	初年度から4年目までの一括購入の保守サービスです。
5年バック	DS-B105GS-2-MT5	オープン	-	初年度から5年目までの一括購入の保守サービスです。
Data SAFE 10TBモデル オンサイトハードウェア保守				
単年(初年度から3年目まで)	DS-R2012GS-2-MS1	オープン	-	初年度から3年目までの単年度購入の保守サービスです。
単年(4年目)	DS-R2012GS-2-MS4	オープン	-	DS-R2012GS-MS1、DS-R2012GS-MT3ご購入のお客様の4年目の保守サービスです。
単年(5年目)	DS-R2012GS-2-MS5	オープン	-	DS-R2012GS-MS4、DS-R2012GS-MT4ご購入のお客様の5年目の保守サービスです。
3年バック	DS-R2012GS-2-MT3	オープン	-	初年度から3年目までの一括購入の保守サービスです。
4年バック	DS-R2012GS-2-MT4	オープン	-	初年度から4年目までの一括購入の保守サービスです。
5年バック	DS-R2012GS-2-MT5	オープン	-	初年度から5年目までの一括購入の保守サービスです。

※2 表示価格に消費税は含まれません。

※ 上記の保守サービスの購入は任意です。但し、本体購入時に当該保守サービスを購入されない場合は、途中加入ができませんのでご注意ください。

※ 上記の保守サービスの継続を停止された場合、再開することはできません。あらかじめご了承ください。

※ 保守サービスの内容は下記となります。

受付	: 24H 365D	(TEL/E-Mail/Fax)
切分対応	: 営業日内9:00-17:00	(E-Mail/Fax)
オンサイト駆付	: 最長翌々営業日内9:00-17:00	

※ 保守未加入時に先出しセンドバックをご希望される場合、別途費用が発生致します。

※ 沖縄県・離島・一部地域は保守内容も含め、別途ご相談となります。

※ 2010年5月以前の価格での追加保守更新は上記価格が適用されますので、ご注意ください。

※ その他、当該保守サービスの詳細については約款を参照ください。

※ 本保守サービスは最長で5年までの購入が可能です。5年以上をご希望の場合は、Biz Storパートナー様とのビジネスモデルの合意が必要となります。個別に弊社窓口までご相談ください。



“ストレージ・ソリューションのリーディング・プロバイダ” コアマイクロシステムズ株式会社

Copyright © Core Micro Systems Inc., All rights reserved.

# 比較資料

製品名	Data SAFE	ARCServe	BackupEXEC
機能比較			
エージェントインストール	なし	あり	
バックアップポリシーの決定、および設計/導入	簡易	IT管理者によるコンサルが必要 (=同ソフトに慣れていないと難しい)	
バックアップ方式	ファイル単位 更新検知	アーカイブビット更新検知/更新処理	
アプリケーションバックアップ	×	○	
OSバックアップ	×	○	
TeraStation等の小型NASバックアップ	○	×	
新OS対応	OS側のパラメータ設定により可	ソフトウェアのバージョンアップが必要な場合も	
管理用画面	ブラウザによる WEBインターフェース	専用アプリケーションをインストール	
その他比較			
トラブル時の対応	ワンストップサポート	E/U様にてハードとソフトの障害切り分けが必須	





## コアマイクロシステムズ株式会社

Core Micro Systems, Inc.

URL: <http://www.cmsinc.co.jp/> Mail: [sales@cmsinc.co.jp](mailto:sales@cmsinc.co.jp)  
TEL: 03-5917-6451 IP Phone: 050-5558-5410 FAX 03-5917-6452  
本社 〒173-0026 東京都板橋区中丸町11-2 ワコーレ要町ビル9F